

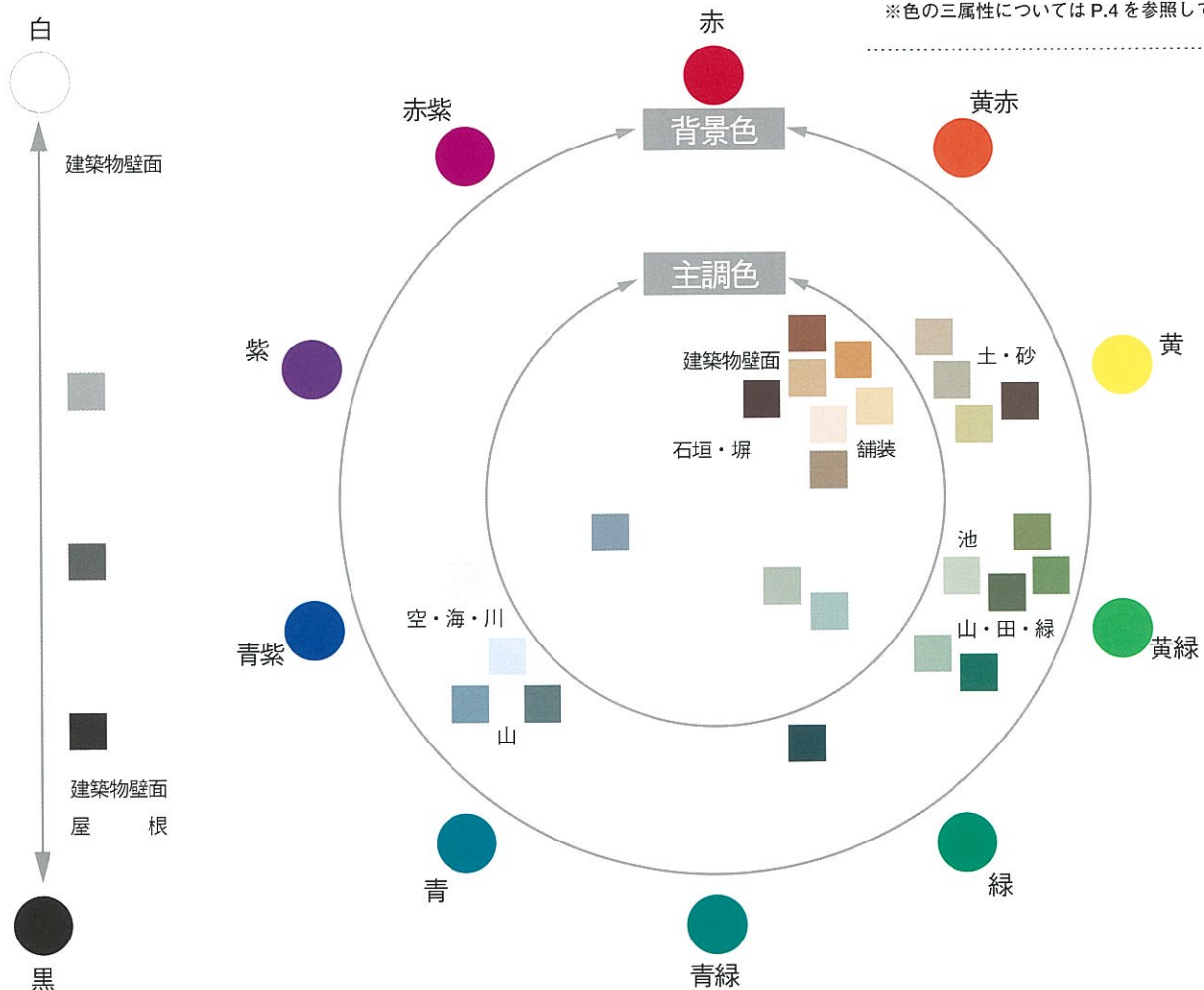
## 1. 市域全体から見たまちの色

岸和田市らしい色彩景観を形成していくには、岸和田のまちなみがどのような色をしているのかを知る必要があります。

岸和田市では、山や街路樹の緑、ため池や田園の緑、土や砂のベージュ等の色彩が、背景色として色彩景観に大きく影響を及ぼしています。また、建築物で多く見られる明るいベージュや板張りや石垣の暖色系、和瓦や白壁の無彩色の主調色は、自然になじんだ岸和田らしい色彩景観を構成しています。

しかし、市の南東に山なみが広がるため、海側からの遠景のまちなみは全体的にやや薄暗く感じられます。また、沿道や工業地では、色彩に秩序感がなく雑然とした地区も見られ、青や黄赤の民家の屋根はまちなみからはみ出しています。

ここでは、山間部から海岸部まで変化のある自然特性や、城下町としての歴史特性などから生み出された岸和田を代表する色彩を「背景色」「主調色」として下図にとりまとめ、地域らしい色彩を選定するためのつかりとします。



### ▼環境色

- 「背景色」 まちなみの背景となる色  
自然景観（空、山、海、池、川等）や建築物全般
- 「主調色」 まちなみの基調となる色  
街路樹の緑、建築物壁面（基調色）、屋根、舗装等
- 「強調色」 まちなみのアクセントとなる色  
草花、ストリートファニチュア、ランドマーク、屋外広告物等

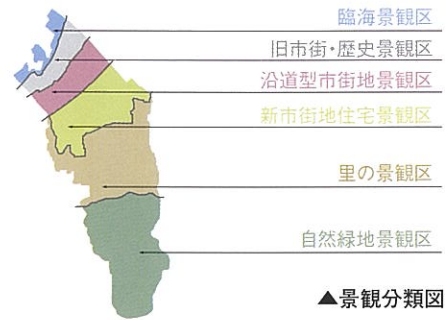
### ▼色の三属性から見た岸和田市の特徴は？

- 色相は？  
建築物：暖色系の黄赤～黄系が多く、白や黒や焦げ茶の素材色も多く見られます。  
屋根：灰色の無彩色が岸和田らしい眺望景観を構成していますが、青や黄赤の洋瓦はまちなみから突出し違和感があります。
- 明度は？  
建築物：大規模建築物は高明度（7～9）が多く、民家の黒っぽい壁は、素材色が多い周辺環境と調和しています。
- 彩度は？  
建築物：低彩度（2以下）の色彩が多く、背景色の山や田園の緑（彩度5～6）になじんでいます。高彩度の壁面や屋外広告物は、自然景観や無彩色の屋根や白壁が連続するまちなみから突出しています。

※色の三属性についてはP.4を参照して下さい。

## 2. 景観区ごとの色彩景観の現状

「景観形成ガイドラインⅠ」では、岸和田市の都市景観形成のあり方を「岸和田市都市景観形成基本計画」に基づいた6つの景観区ごとにとりまとめており、まちの色も各景観区ごとに特徴が見出されます。ここでは、それぞれの地区の色彩選定の参考となるよう、各景観区ごとに主な色彩景観と環境色についてとりまとめました。



景観区	主な色彩景観	主な環境色
臨海景観区	<p>●海や空の背景色の中に機能的な人工色が見られ、さわやかな開放感と無機質なイメージが混在した色彩景観となっています。</p> <p>・港湾 ・工場 ・漁港 ・沿道 ・公園</p>	<p>背景色 (空/海/川/緑/土)</p> <p>主調色 (建築物壁面/屋根/舗装)</p> <p>強調色 (橋/港湾施設/屋外広告物/ストリートファニチュア)</p>
旧市街・歴史景観区	<p>●白壁や板張り、石垣の素材色による歴史的まちなみの風格のある色彩を中心として、落ち着いたトーンの色景観が展開しています。</p> <p>・城下町 ・街道 ・業務地 ・駅周辺 ・住宅地</p>	<p>背景色 (空/山/川/緑/土)</p> <p>主調色 (建築物壁面/屋根/石垣・塀/舗装)</p> <p>強調色 (屋外広告物/ストリートファニチュア)</p>
沿道型市街地景観区	<p>●近景では街路樹等の緑、遠景では山の緑が色彩景観に大きく影響を及ぼしていますが、沿道周辺では突出した色彩が多く見られます。</p> <p>・沿道 ・業務地 ・住宅地 ・公園 ・河川</p>	<p>背景色 (空/山/川/緑/土)</p> <p>主調色 (建築物壁面/屋根/舗装)</p> <p>強調色 (屋外広告物/ストリートファニチュア)</p>
新市街地住宅景観区	<p>●前景のため池や田園風景、背景の山の緑と調和した穏やかな色彩景観を形成しています。</p> <p>・駅周辺 ・街道 ・住宅地 ・田園 ・ため池</p>	<p>背景色 (空/山/川/田園/ため池/緑/土)</p> <p>主調色 (建築物壁面/屋根/舗装)</p> <p>強調色 (ストリートファニチュア/草花)</p>
里の景観区	<p>●旧集落の瓦屋根や白壁、石垣などの素材色による色彩景観は、山なみや田園の緑と調和し、格調高い眺望景観を形成しています。</p> <p>・旧集落 ・山林 ・田園 ・開発地 ・公園</p>	<p>背景色 (空/山/川/田園/ため池/緑/土)</p> <p>主調色 (建築物壁面/屋根/石垣・塀/舗装)</p> <p>強調色 (ストリートファニチュア/庭木)</p>
自然緑地景観区	<p>●旧集落の瓦屋根や石垣などの素材色による色彩景観は、山地や田園の緑になじみ、素朴な色彩景観を形成しています。</p> <p>・旧集落 ・山林 ・田園 ・開発地 ・公園</p>	<p>背景色 (空/山/川/田園/緑/土)</p> <p>主調色 (建築物壁面/屋根/石垣・塀/舗装)</p> <p>強調色 (ストリートファニチュア/果樹)</p>

# 色彩の基礎知識

色彩を正確に伝えるには、数値による表示方法が最も適しています。色彩を系統的に整理して記号化したものを表色系といい、本マニュアルでは、JIS（日本工業規格）で規格されているマンセル表色系を用いています。

## マンセル表色系

全ての色彩を数値で表わせる表色系で、色相、明度、彩度の「色の三属性」を用いて表現します。

### ○色相（H：Hue）：色味の度合いを表します。

R(赤)、Y(黄)、G(緑)、B(青)、P(紫)の5つの基本色相から、さらに中間色相としてYR(黄赤)、GY(黄緑)、BG(青緑)、PB(青紫)、RP(赤紫)を加え計10色相に分割します。さらに、それぞれを10等分し、全体が100分割になるように目盛りされています。各色相の中心色相の度数は5になります。

### ○明度（V：Value）：色の明るさを表します。

黒から白までを10段階に分けて表します。  
(完全な黒を明度0、完全な白を10となります)

### ○彩度（C：Chroma）：色のあざやかさの度合いを表します。

無彩色を0とし、あざやかさが増すにつれ度数が増していきます。(彩度は色相によって異なりますが、最も高い赤の彩度で15程度です。)

### <マンセル記号の表示と読み方>

- ・岸和田城の石垣の色です。(色味のある色を有彩色といえます)



2.5 Y 5 / 1  
色相 明度/彩度  
( に て ん ご わ い ご の い ち )

- ・和瓦は明度が6の無彩色（灰色）です。



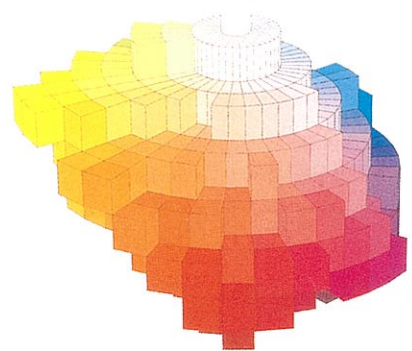
N 6  
( え ん の ろ く )

### ○トーン

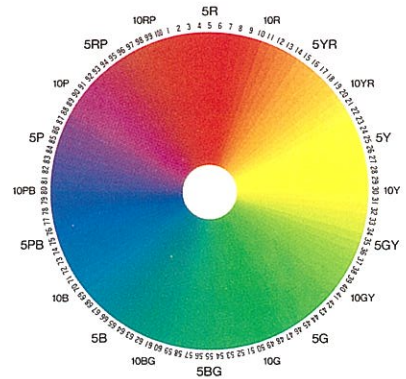
三属性のうち特に明度と彩度を組み合わせた色の濃淡、明暗、強弱などの「色の調子」を表します。

トーン図は、縦軸に明度を表し、上が「明るい」、下が「暗い」となります。横軸は彩度を表し、無彩色から右方向に彩度が高くなります。

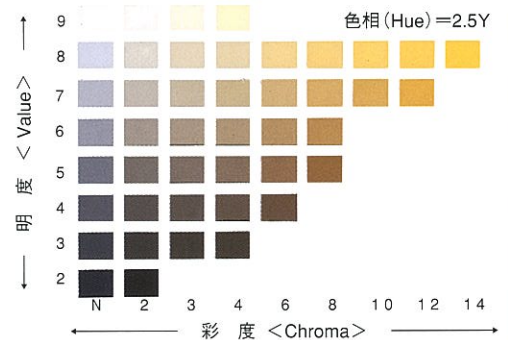
### ▼マンセル色立体



### ▼マンセル色相環



### ▼明度と彩度



### ▼トーン図

